

2016-2017 年度



地区補助金事業報告

障害福祉サービス事業所「とよの郷」にテント及び発電機を寄贈

プロジェクトの概要

広島空港RCでは、例会場とクラブ事務所のある地域で毎年開催される「本郷商工まつり」にて、会員が1年間を通じて不要となったものを持ち寄り、チャリティーバザーを行っているが、そのまつりの中で「障害福祉サービス事業所とよの郷」の活動を知り、人道的支援活動を実施することを決定した。

この施設は、一般就労が困難な障害者20名が在籍し、生産活動や販売、接客その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上に必要な訓練などの支援を行っている。具体的には、花の栽培や事業所等からの請負作業を通じて就労継続支援を、また事業所で生産した花苗や木工製品、農産品などを地域の行事や自らの施設で計画実施するイベントなどで販売・接客活動を行っている。

事業所内での訓練だけでなく、活動範囲は広く、地域の企業や一般家庭からの除草等の請負作業や、青空市場を催し事業所で生産したものを販売しているが、作業のための電源確保や天候に左右される活動で問題が起きている。山間部特有の天候に左右され青空市場での販売活動中止を余儀なくされ、また猛暑下での障害者の健康状態に留意する点でも、テント必要性の逼迫性が求められる。また、除草作業や洗車作業などの屋外での作業時に必要な電源の確保に困難が生じ、効率的に作業が行えない状況が生じているため、発電機の必要性が求められている。入所者をはじめ、施設運営者や地域のボランティアとして参加される方々に聞くと、能率的・効果的・継続的に活動していくためには、これら諸問題をなんとか解決したいと願っているものであるが、施設では、購入するための資金不足に悩んでいる。当クラブとしては、障害者自立支援のためのバックアップとして、テントと発電機を

寄贈する支援をし、障害者自立支援のための勉強会や交流会を通じて、障害者施設の社会での問題や課題を探求し、理解を深め、「みんなが幸せになる＝福祉」社会実現に向けて継続的に活動を行っていきたい。



実施報告

2016年8月10日(水)障害福祉サービス事業所「とよの郷」にて贈呈式を行い、作業方法や活用方法をおききしながら、理解と親睦を深めた

2016年8月24日(水)の例会にて、「とよの郷」所長岡田文江様、運営母体である社会福祉法人みどりの町理事長岡田雄幸様をお招きし、障害者の自立支援と農業との連携について学んだ。

2016年10月15日・16日に行われた「本郷商工祭り」において地元の高校生・理事長と共にチャリティーバザーを行い購入資金の一部とした。

